

ぐんま緑の県民基金事業の5年間の目標と実績見込み、現行制度への要望状況

資料4

事業名	区分	事業内容	目標	実績(見込み)、達成率(I期目)	成果	評価検証委員会の評価	課題	要望	要望者	No.	
水源地域等の森林整備	条件不利地森林整備	立地等の条件が不利であることにより、林業経営が成り立たず放置されている人工林の整備	3,500ha/5年間	実績2,096ha 達成率59.9%	これまで放置されていた森林を整備したことにより、林内の光環境が改善され、下層植生の増加が見込まれるなど、土砂災害の防止等の森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られた。	整備された山林では下層植生も見られるようになり、災害に強い山林となりつつあり、松くい虫被害地の再生もあわせて、これらの森林整備は、本税事業によって初めて整備が進められるようになった点を高く評価する。	道路から200m以内の森林でも、立地条件等が悪く林業経営に適さない森林がある。	事業の要件である「道路から200m以上離れている森林」を緩和して欲しい。	県議会 関係団体 森林事務所	1	
							施業履歴が15年未満であっても、下層植生がなく、災害の恐れのある森林がある。	事業の要件である「過去15年以上森林整備が行われていない森林」を緩和して欲しい。	市町村 関係団体 森林事務所	2	
							現場まで到着するのに時間がかかる。	一日当たりの作業時間が短くなるので、新たな歩掛や補正を設定して欲しい。	関係団体	3	
							水源林機能増進の区域に条件不利地が含まれる場合、水源林機能増進で事業を実施するため、条件不利地森林整備としての実績が少なくなる。	目標面積をそれぞれの事業で設定するのではなく、一体で設定して欲しい。	森林事務所	4	
	水源林機能増進	市町村が管理する簡易水道等の取水口の上流に位置する森林の整備	500ha/5年間	実績1,297ha 達成率259.4%	これまで放置されていた森林を整備したことにより、林内の光環境が改善され、下層植生の増加が見込まれるなど、水源涵養機能等の森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られた。		簡易水道は、上水道に統合、あるいは近々統合予定であるため、事業対象となる森林が少なくなる。	簡易水道から移行した上水道やダム上流、小水道についても対象として欲しい。	関係団体 森林事務所	5	
							松くい虫被害地の再生	松くい虫の被害を受け、やぶなどになった森林の再生	200ha/5年間	実績253ha 達成率126.5%	松くい虫の被害により松が枯れ、やぶになった森林を整理した後、スギやヒノキ、広葉樹を植栽し森林の再生を図ることにより、土砂災害の防止等の森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られた。
	松くい虫被害の他にシカやクマの被害も多くなっている。	シカやクマの被害にあった森林も対象にして欲しい。	関係団体 森林事務所	7							
	地拵えにあたり、被害木を集積すると植え付けのスペースが確保できない。	被害木の搬出経費も対象として欲しい。	森林事務所	8							
	計(共通)			4,200ha/5年間	実績3,646ha 達成率86.8%			労務単価が上昇しており、目標面積を達成できない。			9
								立地条件が悪く手入れが遅れている公有林や分収林が存在する。	公有林及び分収林を対象にして欲しい。	県議会 市町村 関係団体 森林事務所	10
								労働力が不足している。			11
								区域調査については、歩掛と実態が合わない。	実情に合わせて歩掛を見直して欲しい。	森林事務所	12
								森林所有者の特定が難しい。	区域調査において、民間の測量会社に委託できるようにして欲しい。	森林事務所	13
								ヒノキの間伐については、ほぼかかり木になる。	かかり木の歩掛を設定して欲しい。	森林事務所	14

事業名	区分	事業内容	目標	実績(見込み)、達成率(I期目)	成果	評価検証委員会の評価	課題	要望	要望者	No.
市町村提案型事業	荒廃した里山・平地林の整備	市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等との協働による地域に根ざした整備に支援		実績 森林整備 238ha 竹林整備 155ha 計393ha	森林や竹林整備を実施し、野生獣の出没抑制、生活道路や通学路の見通しの確保など、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。	<p>・市町村提案型事業は、年々増加し、平成28年度から県内全市町村で実施されるようになったことは、県民参加を前提とした本税の目的を一致程度達成しつつあることを示している。</p> <p>・本税導入の要因ともなっていた「荒廃した里山・平地林の整備」に最も多く取り組まれたことは、本税が地域ニーズ、県民ニーズに合致していたことを端的に示している。</p> <p>・県民の手によって貴重な自然環境の保護・保全が図られたこと、森林環境教育・普及啓発に多くの人が参加したことは成果として高く評価される。</p>	活動する人が集まらない。	整備・管理については人件費を認めて欲しい。	市町村 森林事務所	15
							現場状況により上限単価が実情に合わない場合がある。	整備の上限単価に地形などの補正を設定して欲しい。	市町村 森林事務所	16
							現場状況により上限単価が実情に合わない場合がある。	困難地整備の上限単価を見直して欲しい。	市町村	17
							現場状況により上限単価が実情に合わない場合がある。	地域別単価を設定して欲しい。	市町村	18
							特殊伐採の補助率が2分の1では市町村の負担が大きい。	特殊伐採び上限を撤廃して欲しい	市町村 森林事務所	19
							活動するに当たり初期費用がかかる。	初めて整備に取り組む年度に装備品等の支度金を補助して欲しい。	市町村	20
							野生獣による被害が多くなっている。	上限単価に獣害防止施設に係る経費を設定して欲しい。	森林事務所	21
							全伐して植栽するにあたり、除根が必要になるが、多大な費用がかかる。	全伐の場合、除根に係る経費を設定して欲しい。	県議会 市町村 森林事務所	22
							処理費に多大な費用がかかる。	処理費に係る経費を設定して欲しい。	県議会 関係団体 市町村 森林事務所	23
							上限単価は整備する費用のみとなっている。	測量に係る経費を設定して欲しい。	市町村	24
							管理団体には測量は難しい	図上計測などを認めて欲しい。	森林事務所	25
							上限単価は整備する費用のみとなっている。	書類作成など事務経費を対象と欲しい。	市町村	26
							事業数増加に伴い書類作成などの事務量増加が負担となっている。	書類の簡素化で事務の省力化を図って欲しい。	市町村 森林事務所	27
							設計等の手間が負担となっている。	困難地整備の歩掛等を示して欲しい。	市町村	28
							上限単価が低くて意欲がわからない。	管理の上限単価を見直して欲しい。	関係団体 市町村	29
							高齢化等により管理団体を構築できない。	管理については、委託を認めて欲しい。	市町村 森林事務所 評価検証委員会	30
							高齢化等により管理団体を構築できない。	市町村がまとめて管理できるようにして欲しい。	市町村 森林事務所	31

事業名	区分	事業内容	目標	実績(見込み)、達成率(I期目)	成果	評価検証委員会の評価	課題	要望	要望者	No.
市町村提案型事業	荒廃した里山・平地林の整備	市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等との協働による地域に根ざした整備に支援		(再掲) 実績 森林整備 238ha 竹林整備 155ha 計393ha	森林や竹林整備を実施し、野生獣の出没抑制、生活道路や通学路の見通しの確保など、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。	・市町村提案型事業は、年々増加し、平成28年度から県内全市町村で実施されるようになったことは、県民参加を前提とした本税の目的を一致程度達成しつつあることを示している。 ・本税導入の要因ともなっていた「荒廃した里山・平地林の整備」に最も多く取り組まれたことは、本税が地域ニーズ、県民ニーズに合致していたことを端的に示している。 ・県民の手によって貴重な自然環境の保護・保全が図られたこと、森林環境教育・普及啓発に多くの人々が参加したことは成果として高く評価される。	高齢化等により10年間も管理できない。	協定期間を短くして欲しい。	関係団体 市町村	32
							整備箇所の管理は地域の自費管理では維持できない。	管理の補助対象期間を協定期間として欲しい。	市町村	33
							植栽の要件を緩和が必要。	花木、果樹を植栽したい。天然更新も認めて欲しい。整備を伴わない植栽からの事業も認めて欲しい。	市町村 森林事務所	34
							ゴミの不法投棄がある。	ゴミの撤去費を対象として欲しい。	市町村	35
							購入した機械のメンテナンスに費用がかかる。	チップターのメンテナンス費用を対象にして欲しい。	市町村 森林事務所	36
							活動に当たり備品が必要になる。	市町村の購入可能な備品にチェーンソーも含めて欲しい。	森林事務所	37
							活動に当たり備品が必要になる。	管理団体の備品の購入を対象として欲しい。	市町村	38
							整備の一連として、搬出を行いたい。	搬出にかかる経費を認めて欲しい。	森林事務所	39
							整備の一連として、搬出を行いたい。	低質材や倒木等の搬出も補助の対象として欲しい。	市町村	40
							実行経費等の事務管理が繁雑。	標準単価方式(定額補助)として欲しい。	市町村 森林事務所	41
							公有林においても整備が必要である。	公有林も対象として欲しい。	市町村	42
							市町村が管理する森林においても整備が必要である。	市町村が管理する森林を対象として欲しい。	市町村	43
							活動に費用がかかる。	上限単価を見直して欲しい。	市町村	44
							活動する人が集まらない。	人件費を認めて欲しい。	市町村	45
							公有地の希少種の保護・保全を図る必要がある。	公有地での活動も認めて欲しい。	市町村	46
							他の箇所の優良事例等を参考にしたい。	先進地での取組視察や研修会等の開催費用も対象にして欲しい。	市町村	47
							自然環境保護のニーズが高まっている。	自然環境保全対策を拡充して欲しい。	県議会 市町村	48
							外来生物の増加により、在来生物に悪影響を及ぼしている。	外来生物の除去・駆除を対象にして欲しい。	森林事務所	49
	貴重な自然環境の保護・保全	市町村あるいは市町村と住民団体が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅及び絶滅危惧種I、II類に指定されている種が生息している地域の保護・保全活動に支援		実績 動物 13種 植物 37種 計50種	希少種の生息地の刈り払い等の環境整備を行い、動物13種、植物37種、計50種の保護が図られた。					

事業名	区分	事業内容	目標	実績(見込み)、達成率(I期目)	成果	評価検証委員会の評価	課題	要望	要望者	No.
市町村提案型事業	森林環境教育・普及啓発	児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動、森林の機能や重要性について普及啓発を図る事業に支援		実績 参加者 28,160人	参加者が年々増加しており、児童生徒を中心とした多くの県民に森林の大切さや役割が伝えられ、森林環境に対する意識の向上が図られた。		規模の大きい市町村については、上限額では予算が足りない。	1市町村当たりの上限単価を撤廃して欲しい。	市町村	50
							活動する人が集まらない。	人件費を認めて欲しい。	森林事務所	51
							申請が2度手間になる。	事業団体から県への直接交付申請の手続きとして欲しい。	市町村	52
							森林がフィールドであれば、どのような活動でも森林環境教育につながると考えている。	昆虫採取等でも、森林内で行えば間接的に森林環境教育となるとして、補助対象として欲しい。	市町村	53
							森林整備技術や整備方法等情報共有を図りたい。	講習会や情報交換の場を設けて欲しい。	市町村	54
							活動に汎用性の高い物品が必要となる。	ビデオカメラ等汎用性の高いものを対象として欲しい。	市町村	55
	森林の公有林化	水源地域の森林や平地林の公有林化に支援		実績 水源林 33.5ha 平地林 0.6ha 計 34.1ha	水源地域にある森林を公有林化し、水源林としての維持が図られた。	<ul style="list-style-type: none"> 市町村提案型事業は、年々増加し、平成28年度から県内全市町村で実施されるようになったことは、県民参加を前提とした本税の目的を一致程度達成しつつあることを示している。 本税導入の要因ともなっていた「荒廃した里山・平地林の整備」に最も多く取り組まれたことは、本税が地域ニーズ、県民ニーズに合致していたことを端的に示している。 県民の手によって貴重な自然環境の保護・保全が図られたこと、森林環境教育・普及啓発に多くの人が参加したことは成果として高く評価される。 	寄附により森林を取得する場合、登記等に必要な測量等に多大な費用がかかる。	寄附により受け入れるための測量や調査費用を支援して欲しい。	森林事務所	56
							「公有林化事業」で購入した森林は、「水源地域等の森林整備事業」等の補助対象となっていない。	「公有林化事業」により公有林化した森林については、「水源地域等の森林整備事業」等による整備を対象として欲しい。	森林事務所	57
							民有地のままで開発されてしまう恐れがある。	希少種生育地の購入費用を認めて欲しい。	市町村	58
							市町村の負担が大きい。	これまで以上の支援(補助率の向上)を要望。	市町村	59
	独自提案	ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業内容と認められ、かつ「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」の承認を得た事業に支援		実績 森林整備 9.5ha 竹林整備 10.8ha 計 20.3ha	本事業により、市町村独自の課題の改善が図られた。		作業内容により経費が異なる。	一律2分の1の補助ではなく、作業内容別に補助率を設定して欲しい。	市町村	60
							植栽木への獣害が見られる	植栽木の保護のため、ツリーシェルター等の設置を補助対象として欲しい。	森林事務所	61
	共通						市町村提案型事業については、予算に対し要望が多くなっている。	市町村提案型事業の予算を拡充して欲しい。	県議会	62
							シカ等による被害が広がっている。	獣害対策の新設	市町村 森林事務所	63
							クビアカツヤカミキリによる被害が発生している。	外来生物対策の新設	市町村	64
							活動にチェーンソー等の備品が必要。	団体育成支援策の拡充	森林事務所	65
							高齢化等により管理団体を構築できない。	管理団体の斡旋・育成対策の拡充	森林事務所	66
木製品とふれあえる機会が少ない。	木育への支援を認めて欲しい。	森林事務所	67							

事業名	区分	事業内容	目標	実績(見込み)、達成率(I期目)	成果	評価検証委員会の評価	課題	要望	要望者	No.
森林ボランティア推進	森林ボランティア活動	「森林ボランティア支援センター」を設置し、専用ホームページや情報誌による情報の収集・発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し等、森林ボランティア活動への一体的なサポートを実施		機械・器具の貸出 337回 安全講習会 50回開催 森林ボランティア体験会 14回開催 交流会 2回開催	「森林ボランティア支援センター」による安全講習回答の実施によりボランティア団体の活動を支援した。	森林ボランティアは、年々増加の傾向にあり、広報、研修等の成果が表れている。	市町村提案型事業の荒廃した里山・平地林の整備については、整備後の管理団体が見つからず、事業が実施できない場合が見受けられる。	「森林ボランティア支援センター」による斡旋など情報収集・発信機能の強化	関係所属 評価検証委員会	68
	森林環境教育の推進	新たな「緑のインタープリター」を養成し、小中学生を対象にしたフォレストリースクールや緑の少年団育成事業、県民を対象にした県・市町村主催の森林観察会、自然講座等への派遣などを通じて森林環境教育を推進		緑のインタープリター養成講座 新規講座 49回開催 経験者講座 12回開催 フォローアップ研修 12回開催	緑のインタープリターを養成し、市町村提案型事業(森林環境教育・普及啓発)やフォレストリースクールの講師などで活動することにより、県民に森林環境への理解を深められた。	本事業は、本税が導入されたことによって体系的に行われるようになり、小中学生、父兄に森林の機能や整備の重要性を知っていただく絶好の機会となったと思われる。	森林環境教育活動ニーズの増大、多様化に対応し、円滑かつ効果的に事業を運営する必要がある。	・コーディネーター業務の強化 ・フォローアップ研修の充実	関係所属	69
制度運営	普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施		バスツアー 14回開催	ポスターや、パンフレット、各種広報媒体を活用した広報活動及び、県民を対象とした本事業で実施した森林整備箇所を見学するバスツアーを実施し、本事業の趣旨や内容などの理解の促進が図られた。	県民への普及啓発への取組の結果、一定の周知がなされてきたと認識してよい。	ぐんま緑の県民税の認知度が低い	親を通して子供に理解してもらうため、幼稚園や保育園に周知して欲しい。 市町村と連携し、一体となってPRして欲しい。 施行箇所看板を設置してPRして欲しい。 ダイレクトメールで周知してはどうか。	評価検証委員会	70
	評価検証	納税者である県民や学識経験者等により構成される評価検証委員会を設置し、事業の内容審査や評価検証を実施するほか、県に対して制度改善に向けた提言等を行う		評価検証委員会 15回開催	評価検証委員会で事業の実績や計画などの審議を行い、その内容や結果を公表した。また、林業試験場において、間伐施行地の森林の状況を調査し、調査分析に必要な情報収集が図られた。	相対照度変化や植被率調査を県民にわかりやすくホームページやパネル展示の形で示して、さらに理解を深めてもらう取組をすること。	竹林については、整備後、いつまで管理すれば絶滅するのか不確定。	関係所属	71	
							獣害を防止する資材もいろいろあり、地域の特性や費用対効果の観点からどの資材を活用すればよいのか不確定。	関係所属	72	
							絶滅危惧種の植生を回復する必要がある。	関係所属	73	
	水土保全機能を維持するための、間伐等の整備方針がない。	関係所属	74							